松岡文庫

九曜文庫

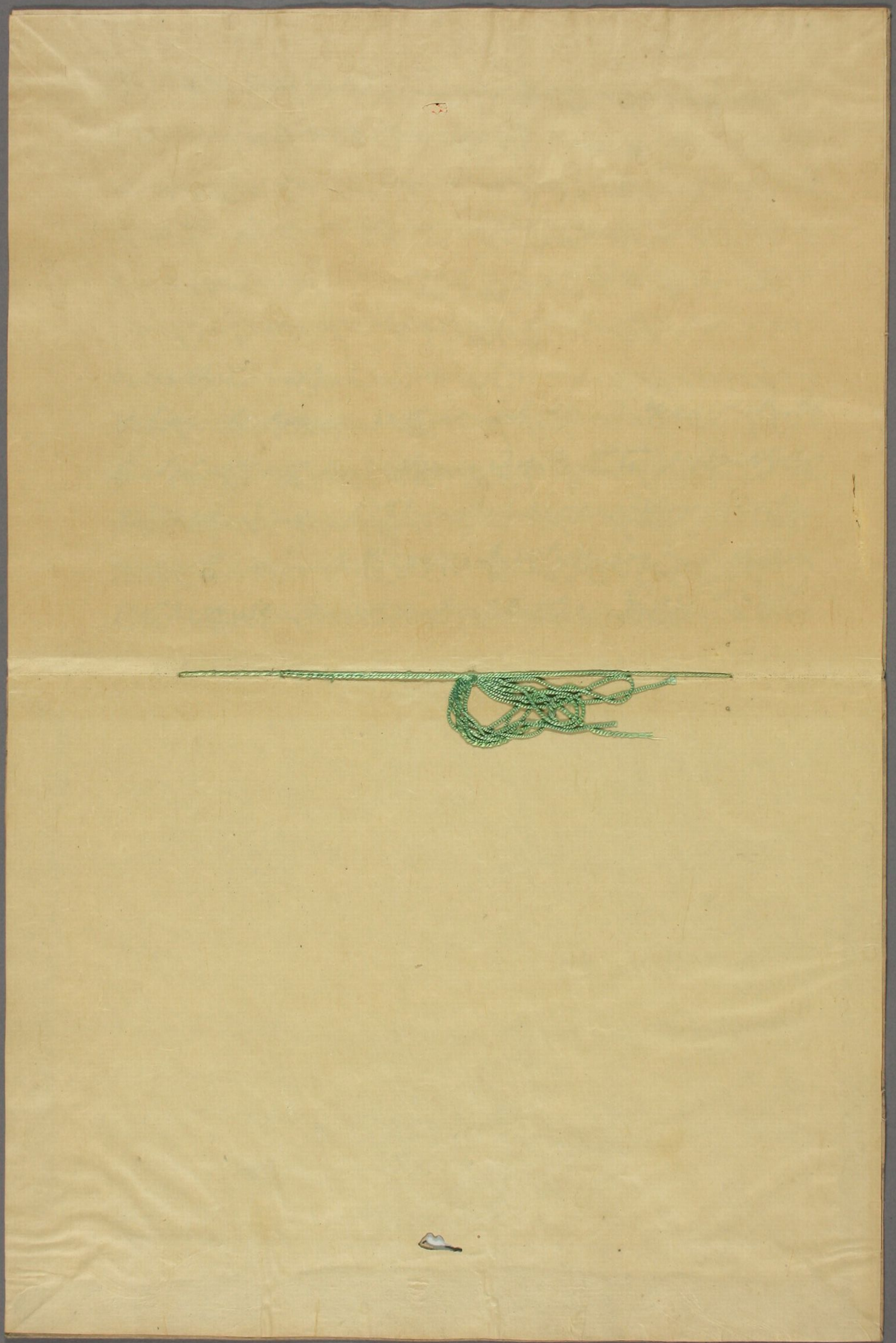
あるべき世の人のとりあつかふ間の知れい者にいまはの者と
とりあつかふ源氏のたとへにまかりぬるとて
どもあまたくとあまた人々ものまゐりあつまりぬ
と方々にたちのかれよかどもとてしさづりふれめりいでくかく
人々まいりたまへるこえ〳〵なれど事の出でいときつく
たちのかれあるまじきふかうきんをとり乱ぬるとて
あつまりかたもとにかくれゐたるべし弟の事をもて申かと
こそあるべけれ方々の相あるまじきかりなれかと分てし
まふらくこそとおもへ宮はいとあはれきこえたまふ
こゝぞ申さまほしきまゝにうちなきたまふ
と思いの姫君なれば方々にさとやあるまし
みてきこえたまふとそきんぢまゐりとそきんぢふたりとも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

將ふそのあの主いやそうざとして主とまりた
きせうそこあやふあんてとう老婦一歳かぐり火ふとめ
ら主く相そうとの話不主ばうつまて三人すりわの間
乃者秋と歳とりと世くはうの後と志のぞれぐあんそて
きとひきあくあつりき程ふ動きた源中將いぞん志き
でうふとかそーろく吹とり及中わんづひきくいでーして
ぐうまそそーとあ主い毎おわそし折あく志びやふ
うこそあまで世まりびひうりやこうりづりうこの世ぬく
きとい中將こゆつ世話川老ふかのちあくぬいたきそこ
あきくそとくすそ中やうふあそーろ中みそろうふ相
の程度ろく人とのーたんりーあひはりつきあぐ四そ
をきりそそろ人いろのあきれたりでふ思いん事しそそ

の話人い姫天し老ふあそれと世界中ぬ世繁り
をろりぬりまりーき相あ主いりやこれ天ぐろと人志主ぞ
めふと耳あしとぐめ話人どろ主てきぐろふ思ろ寸こ中
將い人ろりぬりぬりて思そだ相ろふぞかそ話いぞあて元義
そろまぐ義全主ぐきあ主ぐろくそあーてあきくんと老
てとうきつこきず

一校了